

過労死110番運動の30年間

松丸 正 弁護士

○過労死110番運動

*その契機となったもの

- ・1988年に始まった弁護士等による過労死等の被災者・遺族の救済のための電話相談
- ・大阪では医師を中心とした過労死（脳・心臓疾患）の認定の運動の先行
- ・脳・心臓疾患についての認定基準の災害主義から1週間主義への改正（87年）
- ・労働現場の個別・特殊な問題から一般・普遍性をもった問題。走りながら考える

*大阪での最初の110番の相談

- ・ベアリング工場班長の過労死
- ・「karoshi」 Japanese live and die for their work

○30年間の歩み

*1988年当時

妻による働き盛りの夫の過労死（NHK「過労死・妻たちは告発する」）

背景としての「専業主婦」世帯

労働現場から家庭、文化への広がりをもった問題

*2000年前後

- ・過労死等110番とその運動の画期
- ・認定基準と最高裁判決

1999年9月 精神障害・自殺の認定基準（判断指針）

→精神障害と自殺の因果関係を認める

2000年3月 電通過労自殺損害賠償最高裁判決

→過労死等の企業賠償責任の原点としての判決

2000年7月 東京海上過労死業務上最高裁判決

→脳・心臓疾患について長期間の業務の評価

2001年12月 脳・心臓疾患の認定基準の改正

→6ヵ月間の過重業務の評価

- ・なぜ、この激震が生じたのか

長時間労働に対する職場の労使合意では歯止めがかからない状況への司法の判断

「長時間労働等により過労・ストレスが過度に蓄積すると心身の健康を損ねることは周知の事実」

狭い認定基準の門戸を裁判でこじあけた被災者・遺族と支援者の取組み

*2000年以降

- ・被災者・遺族の労災認定・企業賠償責任のあるかなきかの「道」が踏み固められる時代
- ・「110番」への息子・娘を自殺で亡くした親からの相談

- ・過労死と精神障害・自殺の認定件数の急増

＊２０１０年以降

- ・過労死等防止法制定への遺族を中心とした取り組み
- ・２０１４年６月の国会での全会一致による過労死等防止対策推進法の制定

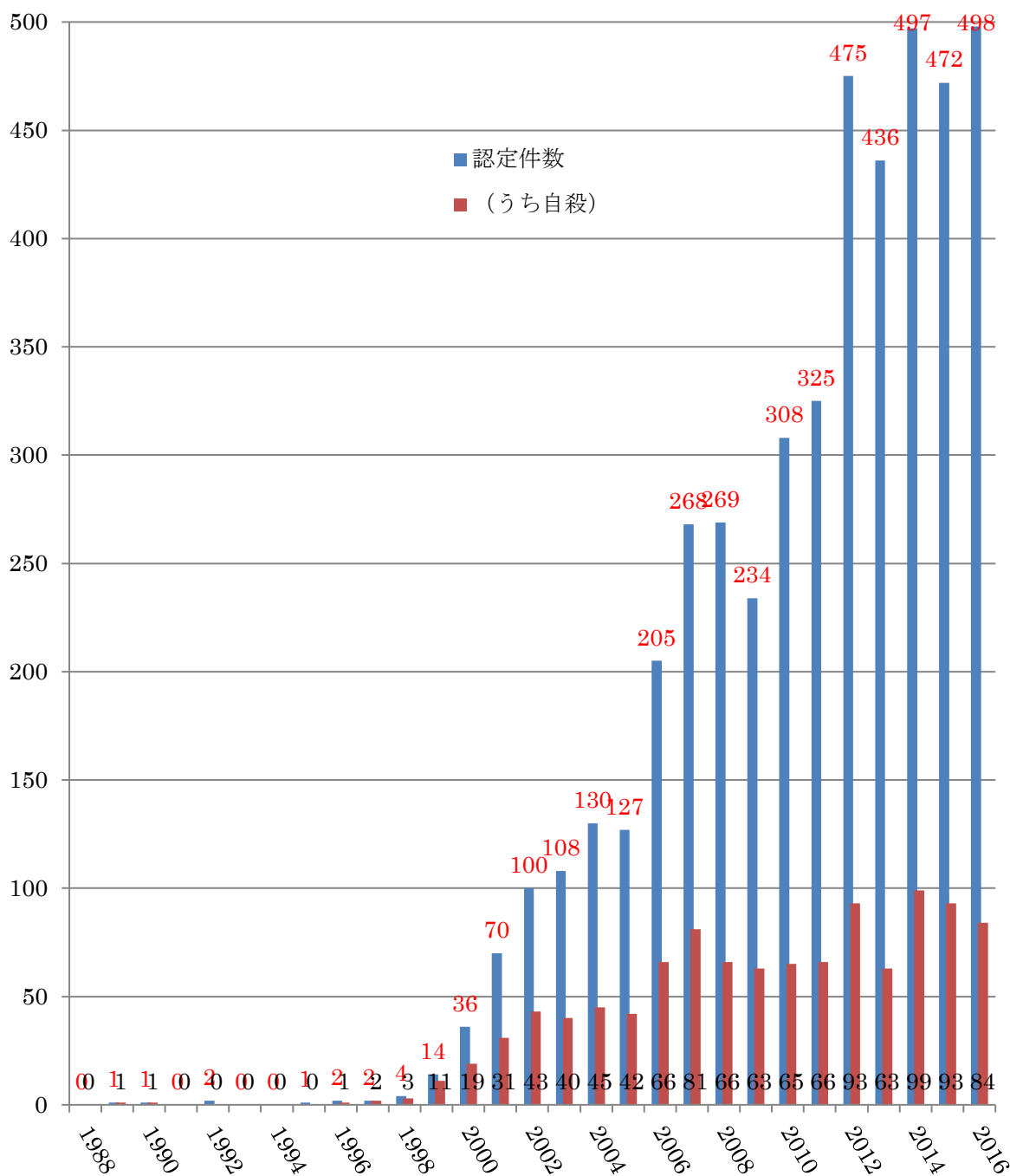
＊過労死１１０番の現在と未来

- ・労働時間の「液化化」←→過労死防止の二律背反
- ・過労死ラインを労基法の労働時間の上限とする「改革」の問題点
- ・過労死防止から「人たるに値する生活を営むための必要を充たす」（労働基準法１条）労働時間に向けて
- ・希望とは道のようなものだ・・・

過労死 110 番相談事例（1988 年 4 月）

事例	救命死別	年齢	発症時期	病名	既往症	職種	労働実態	相談者	労災申請
1	死	48	63. 2. 12.	クモ膜下出血	胃かいよう		年末から公休以外に休めなかった。	妻	不明
2						管理職	土・日も休めない。午前6時すぎに家を出て帰宅は深夜。このままでは倒れてしまう。	本人	
3	死	45	63. 4. 5.	急性心不全	特になし	メーカー勤務	土曜日は公休だが休めず。精神的ストレス多い海外出張中に死亡。	妻	検討中
4	救命・後遺症	49	63. 1. 5.	脳内出血	特になし	機械部品製造	休みとれない。残業多く風邪を押して出勤。	妻	検討中
5	死	42	61. 9.	急性心不全	高血圧	電気設備工事	週4回深夜に現場工事。	妻	検討中
6	死	48	62. 11. 6.	クモ膜下出血	特になし	土木作業所長	単身赴任。車で帰宅中、車中で死亡。	妻	検討中
7	死	46	63. 3. 30.	急性心不全	コレステロール高い	営業	土・日休めず。出張から帰宅後発症。	妻	検討中
8	死	48	63. 2. 23.	心筋梗塞		製造業	土・日休めず。2交替勤務（1週おきに深夜）1日12時間労働	妻	検討中
9	死	50	61. 11.	胃ガン	肝炎	管理職	仕事多忙で、やめたいと言っていた。	妻	
10	死	63	60. 1. 22.	脳内出血	高血圧・動脈硬化	タクシー運転手	早朝～深夜の長時間運転労働	妻	審査請求中
11	死	62	62. 10.	急性呼吸不全	高血圧	サービス部門の責任者	風邪を押して出勤。	妻	検討中
12	救命	57	63. 3. 19.	心筋梗塞	高コレステロール	仕入れ担当	中間管理職、毎日残業、休日出勤。	妻	検討中
13	救命	62	63. 3. 15.	脳内出血	高血圧	臨時工	工期の締め切り前の突貫工事中に発症。	妻	検討中
14	死	24	59. 4. 20.	急性心不全	なし	食品売場店員	早出、残業が恒常的。入社1年で体重10kg減少。	母	審査請求一外
15						中小企業の会社員	長時間労働できつい仕事。日曜も休めず、いつ倒れるか心配。	母	
16	救命	51	60.	脳内出血	特になし	電力会社	働きすぎ、過労で発症。	妻	審査請求中
17	死	不明	62. 8. 31.	急性心不全	不明	電気工事業	2ヵ月休みなく労働。現場で配線工事中に発症。	妻	
18	死	40	62. 10. 29.	急性心不全	不明	レッカー運転手	休日休めない。	妻	検討中

労災認定件数（精神障害）



大阪過労死問題連絡会 略年表 1981～2018

年	月	主な取り組み、催し、出版など
1981	7	「『急性死』等労災認定連絡会」発足 急性死電話相談を実施
	7	「急性死」問題で電話相談を実施
1982	5	NHKが連絡会の例会等取材し、「夫が職場で倒れたとき」のタイトルでテレビ放映
	6	細川汀・上畑鉄之丞・田尻俊一郎著『過労死』（労働経済社）出版
	7	「大阪過労死問題連絡会」（以下、連絡会）に名称変更
1984	10	連絡会編パンフレット『過労死 110 番』を発行、3000 部

1985	6	田尻俊一郎『はたらきざかりの働き過ぎ』(労働経済社)出版
1987	10	労働省が過労死の労災認定基準を改訂→発症前1週間の業務の過重性も考慮
1988	4	大阪で「過労死シンポジウム」開催、「過労死 110 番」を実施
	6	過労死 110 番全国ネット一斉相談がスタート 東京、大阪、札幌、仙台、京都、神戸、福岡で
	10	過労死弁護士全国連絡会議結成
	11	全国一斉過労死労災申請
	11	『シカゴトリビューン』紙 平岡事件を中心に日本の過労死問題を報道 Japanese Live and Die for their Work
1989	3	「名古屋過労死を考える家族の会」結成
	4	連絡会編『過労死 110 番——夫が倒れたとき・倒れないために』(合同出版)出版
春		連絡会、前年からの相談者に記述アンケート調査を実施 70 名に送付、44 名から回答
	5	平岡事件、110 番で全国初の労災認定
	6	NHKドキュメンタリー' 89「過労死・妻は告発する」放映
	7	森岡孝二「過労死—働きすぎ社会の告発」『経済科学通信』第 60 号、1989 年 7 月
	11	シンポジウム「さよなら働きすぎ蜂」を開催
1990	3	東京で 110 番事件初の労災認定
	5	平岡過労死事件訴訟・企業責任追及提訴
	7	かもがわブックレット『さよなら過労死』出版 華田晶之、森岡孝二、前田達男、池田忠夫
	12	過労死弁護士編『KAROSHI[過労死]国際版』(窓社)出版
	12	「大阪過労死を考える家族の会」結成
1991	11	「全国過労死を考える家族の会」結成
	11	同会編『日本は幸福か——過労死・残された 50 人の妻たちの手記』(教育史料出版会)出版
	12	大阪過労死問題連絡会 10 周年記念レセプションを開催
1992	8	希求座「突然の明日」上演(富田林市立公会堂ホール)、2 回の合計入場者数 1200 名
	11	亀井事件を受けて大阪独自で「サービス残業 110 番」を実施
	11	シンポジウム「(S)さよなら(O)おかしな(S)サービス残業」を開催
	12	きづがわ「突然の明日」上演(エル大阪大ホール)、3 回の合計入場者数 2200 名
1993	11	「ノーモア・カローシ——家族とともに過労死を考え交流する文化のタベ」(サンスクエア堺)
	11	本多淳亮・森岡孝二『脱「サービス残業」』(労働旬報社)出版
	12	大阪労働健康安全センター設立総会
1994	6	過労死 110 番プレシンポ「労災認定の壁はなぜかくも高いのか」を開催
	9	平岡事件、民事訴訟で完全勝利和解
	11	「過労死問題を考える関西学生フォーラム」を開催
1995	1	森岡孝二『企業中心社会の時間構造』(青木書店)出版
	2	「阪神大震災労災補償 110 番」を実施
	6	過労死 110 番プレシンポ「新認定基準で過労死は救われるか」を開催
	9	『「学生フォーラム」激論! 企業社会—過労死と働き方を考える』(岩波ブックレット)出版
1996	2	「新認定基準施行 1 周年 臨時過労死 110 番」を実施
	4	「自殺・過労死 110 番」を実施
	6	過労死 110 番プレシンポ「過労死救済元年——何が労働省を動かしたのか」を開催

	11	「在職死亡・団体生命保険・過労死 110 番」を実施
1997	6	「過労死・団体生命保険 110 番」を実施
	10	「自殺・過労死 110 番全国電話相談」を実施
1998	4	川人博『過労自殺』（初版）岩波新書、出版
	6	「自殺・過労死 110 番」を実施
	11	『道標 田尻俊一郎過労死問題意見書集』を発行
1999	6	過労死 110 番プレシンポ「過労自殺緊急シンポ——なくそう！職場のストレス疾患」を開催
	11	過労死 110 番プレシンポ「過労自殺シンポジウム」
2000	3	電通青年過労自殺事件最高裁判決、原告全面勝訴
	6	「まじめに働くと『過失』になるの？ シンポジウム「過労自殺と企業の責任」を開催
	9	過労死弁護団編『激増する過労自殺』出版
	12	大阪過労死家族の会 10 周年記念「ノーモアカローシ いま大阪から過労死問題を考えるつどい」を開催
2001	6	「労働基準オンブズマン」結成記念 シンポジウム「サービス残業と過労死」を開催
	12	緊急シンポジウム「認定基準の改定で過労死労災認定はどう変わるか」
	12	臨時「過労死・過労自殺 110 番」を実施
2002	3	大阪過労死問題連絡会 20 周年シンポジウム「過労死・過労自殺問題の現在・過去・未来」を開催
	6	過労死 110 番プレシンポ「若者の過労死・過労自殺——仕事との付き合い方、考えたことありますか？」を開催
	11	過労死 110 番プレシンポ「医療現場の労働実態を考える——これで患者の命をすくえるか」を開催
2003	3	大阪過労死問題連絡会『Q&A 過労死・過労自殺 110 番』を出版
	4	シンポジウム「金融現場の労働実態を考える」を開催
	11	過労死 110 番プレシンポ「なくせ長時間労働！ 残業・過労死 110 番」を実施
2004	6	過労死 110 番プレシンポ「先生、しんどそうだけど大丈夫？——教師の過労・働き過ぎを考える」を開催
2005	3	36 協定情報公開訴訟で、大阪地裁が企業名の公表を認める
	6	「労働ストレス・過労死・過労自殺 110 番」を実施
	8	森岡孝二『働きすぎの時代』（岩波新書）出版
	9	「課長・係長サービス残業 110 番」を実施
	11	「管理職のサービス残業・過労死 110 番」を実施
2006	9	「ストップ・ザ・エグゼンプション——働き方を考える大阪ネット」（働き方ネット大阪）発足
	11	「過労死・過労自殺 110 番」を実施
	11	希求座「あの子が死んだ朝」（エルおおさか大ホール）上演
2007	1	「管理職残業代ゼロ 110 番」を実施
	6	シンポジウム「管理職の不払残業と過労死」を開催
	6	過労死弁護団と日本労働弁護団の共催でシンポ「日本版エグゼンプションを許さない」（東京）を開催
	10	東京地裁、パワハラが原因の自殺事案、初の行政訴訟勝訴
	11	シンポジウム「なくそう！ 医師の過労死」（東京）を開催
	11	「医師・看護師・教師 過労死・過労自殺 110 番」を実施
	11	名古屋地裁、トヨタ社員過労死行政訴訟勝利、QC を業務と認定
2008	1	東京地裁、マクド店長の管理監督者扱いを違法とする勝訴判決
	5	トヨタ「カイゼン」活動に残業代支払うことに決定
	6	「過労死 110 番」20 周年記念シンポ（東京）を開催

2009	9	過労死弁護団全国連絡会議第 21 回全国総会で「過労死防止基本法」の制定を求める決議案を採択
	3	寺西笑子さん、大阪労働局に過労死を出した企業名の公開請求
	6	大阪労働局への公開請求で大手企業 86 社の約半数が過労死ラインの 36 協定を結んでいることが判明
	9	連絡会会長、田尻俊一郎先生が亡くなる(81 歳)
	11	寺西笑子さん、過労死企業名の公表を求めて大阪地裁に提訴
2010	11	「過労死防止法を！ 過労死・過労自殺 110 番」を実施
	2	熊沢誠『働きすぎに斃れて——過労死・過労自殺の語る労働史』(岩波書店)出版
	3	連絡会総会を開催、森岡が新しい会長に
	4	過労死弁護団全国連絡会議と大阪過労死問題連絡会が過重労働対策基本法(案)を提案
	6	過労死 110 番プレシンプ「外食産業の過労死・サービス残業を考える」
2011	10	「過労死等防止基本法の制定を求める院内集会」
	11	過労死 110 番プレシンプ「就活におけるブラック企業の見分け方」
	2	月 200 時間の時間外労働協定を受理した国の責任を問うため、東京地裁へ提訴
	11	連絡会結成 30 周年記念シンプ
	11	大阪地裁、過労死認定者を出した企業名公表訴訟で開示を命じる
2012	11	衆議院会館内で「過労死防止基本法」制定実行委員会結成記念集会を開催
	1	「過労死防止基本法」制定に向けて全国一斉街頭署名活動実施
2013	3	『就活とブラック企業』(岩波ブックレット No.805)出版
	5	国連社会兼規約委員会が過労死・過労自殺の防止を日本政府に勧告
	11	52 万筆にせまる過労死防止基本法賛同署名、院内集会で議連の世話人へ提出
	11	森岡孝二『過労死は何を告発しているか』出版記念シンポジウム
2014	6	過労死等防止対策推進法(略称・過労死防止法)が全会一致で成立
	10	過労死防止全国センター設立
	11	過労死防止法施行、啓発シンプが全国各地で開催(兵庫県以外は自主開催)
	12	過労死等防止対策推進協議会設置
2015	3	「過労死防止大阪センター」結成
	5	「過労死防止学会」結成
	7	「過労死等の防止のための対策に関する大綱」が閣議決定
	12	ワタミ過労自殺訴訟、会社側が責任を認めて東京地裁で和解
2016	5	過労死防止学会第 2 回大会、関西大学で開催
	10	第 1 回『過労死白書』
	10	電通新入社員・高橋まつりさんの過労自殺事件公表
	11	連絡会編『過労死・過労自殺の救済 Q&A』第 2 版出版
2017	6	過労死 110 番プレシンプ「働き方改革」を斬る～これでは過労死は防げない
	8	過労死防止大阪センター、大阪労働局との懇談
	9	国立循環器病センター「残業 300 時間まで」の労使協定 情報公開請求で判明
	11	過労死 110 番・プレシンプ「過労死促進法？～労基法改正を考える
2018	4	過労死 110 番 30 周年シンポジウム開催